

授業構想シート

○目指す児童の姿

第5学年 単元名「体積」 第4時／全10時

解決過程を振り返り統合的に考察し、直方体や立方体の体積の求め方をもとにして考えるよさに気づき、階段型の体積を求めている。

○本時のめあて

階段型の体積の求め方を考えよう。

数学的な見方・考え方

「図形を構成する要素に着目」

「図形を分ける」「既習の形に変える」

○本時の展開

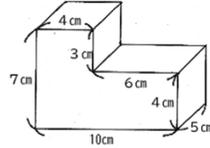
各教科等で目指す資質・能力の育成	
学びを実感	
<p>自分なりに解決し、知識を再構築する</p> <p>解決した内容を組織や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p>	<p>① 再構築</p> <p>学び直すことで、相手の思いや意見を基盤としながら、自分の考えを深めたり創造したりする</p>
<p>情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>目的に応じて分析したり、整理したりする</p>	<p>② 再構築</p> <p>相手の思いや意見を自分の目的に合わせて比較しながら考えや経験と比較しながら整理する</p>
<p>必要な情報を確かに取り出す</p> <p>文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p>	<p>③ 再構築</p> <p>相手の言葉、しぐさ、表情などから相手の思いを感じ取る</p>
目的意識	

「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのイメージ

I 問いをもつ段階

前時に学習した直方体や立方体の形、体積の求め方などを想起できるようにする。

階段型の体積を提示する。



直方体や立方体とどこが違いますか？

形がややこしいな。

発見・蓄積

目的意識

直方体が積み重なっているみたいだな。

直方体や立方体の体積の求め方を使えば解けるのかな？

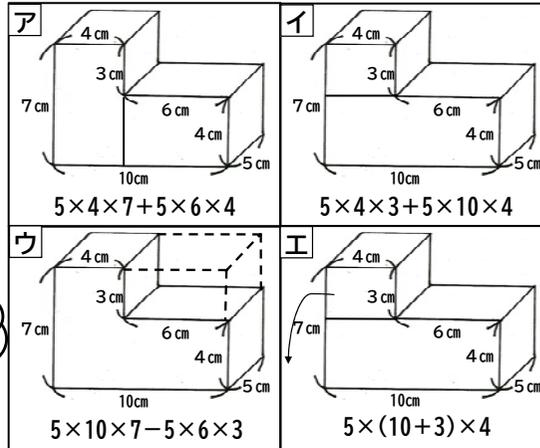
めあて 階段型の体積の求め方を考えよう。

見通しを立てる

第4学年で階段型の図形の面積を、「図形を分ける」「ない部分を補う」などして、長方形の面積の求め方をもとに問題解決したことを想起できるようにする。

II 多様な考えを生み出す段階

分析・整理



III 考えを共有する段階

ICTを活用し、児童の考えを提示する。

分析・整理

再構築

他者の考えを説明する活動で共有を図る。

「解決過程を振り返る段階」につながる発問

「〇〇さんと似ている人？」
「それはどういうこと？」
「〇〇さんはどう考えたのだと思う？」
「なぜこうしたの？」

IV 解決過程を振り返る段階

みんなの考え方の似ているところはどんなところですか？

アとイは図形を分けて、二つの直方体と見て体積を求めているよ。

どれも直方体や立方体の体積の求め方を使っているね。

直方体や立方体の体積の求め方を使えば、形が変わっても体積が求められるよ。

階段型の体積は、分けたり、補ったりして、直方体や立方体をもとにして考えると、体積が求められるね。

再構築

より簡単な方法はどれだと思いますか？

アとイは二つの直方体を合わせたらできるから簡単だと思うよ。

エは移動した後の高さが合わなければ使えないよ。

適用題

振り返り

階段型の体積も、前に学習した直方体や立方体の体積の求め方を使えばいいと思いました。

わたしはウのやり方が、簡単だと思いました。問題によってどの方法が簡単か考えたいです。